

NEWS RELEASE

令和5年4月18日
株式会社 中国銀行

SDGs私募債「セミナー型」のお取扱い開始について

中国銀行（岡山市北区丸の内一丁目15番20号 頭取 加藤 貞則）では、『SDGs 私募債「セミナー型」』（以下、「本私募債」）のお取扱いを開始しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本私募債は、SDGsに関する基礎的なセミナーとお客さまのSDGsへの取組みを支援するサービス「ちゅうぎんSDGsサポート」を無償で受けられる特典付きの私募債です。また、私募債の発行金額に応じて、当行が提供するさまざまなコンサルティングサービスなどに対する割引も受けることができます。

本私募債のお取扱いは『ちゅうぎんグループSDGs宣言』において掲げる「地域経済・社会の活性化」などの重点課題に対応するための取組みのひとつであり、地域のSDGs取組みに対する機運の醸成に貢献できるものと考えております。

当行では、今後も幅広い金融サービスの提供とコンサルティング機能を通じて、お客さまのSDGsへの取組みを支援してまいります。

■本私募債の概要

名称	SDGs 私募債「セミナー型」
対象企業	銀行保証付私募債（または特定社債）の適債基準を充足していること
発行条件	銀行保証付私募債（または特定社債）と同条件です
特典の概要	① SDGsに関するセミナー（当行行員が実施します） ② 「ちゅうぎんSDGsサポート」 （通常は有償でご提供しているサービスを無償で提供します） ③ その他コンサルティングサービスなどの割引（※）

（※）割引金額は本私募債の発行金額に応じた金額となります。

また、私募債の発行金額によっては割引ができない場合もございます。

■（ご参考）「ちゅうぎんSDGsサポート」の概要

名称	ちゅうぎんSDGsサポート
サービス内容	① SDGs診断によるお客さまの取組状況の整理と見える化 ② 「SDGs宣言書」の作成ご支援 ※その他、ご希望されるお客さまへは、PRご支援の一環として、 無償で当行ホームページ上へリリース掲載いたします。
ご利用料金（※）	110,000円（税込）

（※）「ちゅうぎんSDGsサポート」を単独でご利用いただく場合の料金となります。

当行では持続可能な社会の実現に向け、上記「SDG s 私募債」、「ちゅうぎんSDG s サポート」の他にも「ちゅうぎんポジティブ・インパクト・ファイナンス」、「ちゅうぎんサステナブルローン」などのファイナンス商品や「ちゅうぎん脱炭素コンサルティング」などの事業コンサルティングサービスを幅広く取揃え、お客さまのSDG s への取組みを積極的に支援しております。

また、2030年度末までのサステナブルファイナンス目標1.5兆円（うち、環境系目標1兆円）を掲げ、お客さまの社会関連や環境関連の課題解決に向けた取組みに対する投融資を積極的に推進しています。

【ちゅうぎんグループSDG s 宣言】

ちゅうぎんグループは、「地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を共創する」というグループ経営理念のもと、事業活動を通じて次の6つの環境・社会課題に取り組んでいくことで「地域社会の発展への貢献」と「企業価値の向上」を目指します。

重点課題	主な取組み	関連する目標
地域経済・社会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 地域課題解決や多様なお客さまニーズに沿った各種商品・サービス、コンサルティング等の提供 事業活動を通じた持続的な地域・まちづくり SDGsの普及、次世代人材の育成、金融リテラシー向上 	
少子高齢化社会への対応	<ul style="list-style-type: none"> 資産形成層、資産承継層等ライフステージに応じたお客さまニーズへの対応 地域の住みやすいまちづくりへの貢献 	
DXの推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域のDX・SX促進支援 各種サービス、コンサルティング等の提供によるデジタル化の支援 デジタル技術やツールを活用した業務効率化 	
多様な人材の活躍推進	<ul style="list-style-type: none"> プロ人材の育成、専門人材の活躍の場の創出 ダイバーシティの理解・多様な働き方・組織風土づくりの促進 従業員のウェルビーイングややりがいの向上 	
環境経営の促進	<ul style="list-style-type: none"> お取引先の脱炭素化促進のご支援 環境負荷の低減（省エネ・ペーパーレス・3Rの取組み） 気候変動への対応、生物多様性の保全 	
ガバナンスの高度化	<ul style="list-style-type: none"> 収益・リスク・資本のバランスのとれた健全なリスク管理 グループガバナンスの強化 コンプライアンス最優先の企業文化の醸成 	

以上